

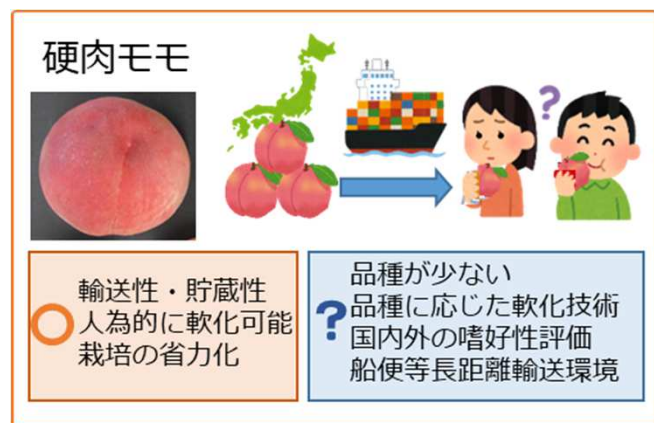
# 国際競争力強化技術開発プロジェクト 硬肉モモ等の輸送に適したモモ品種・系統の育成および 最適な軟化制御・鮮度保持技術の開発 【研究概要図】

## 1. 研究目的

高品質な硬肉モモ品種・系統を育成し、硬肉モモの軟化制御技術や鮮度保持技術、海外を想定した長距離輸送技術を開発することで、輸出重点品目であるモモの輸出拡大を目的とする。

## 2. 研究背景

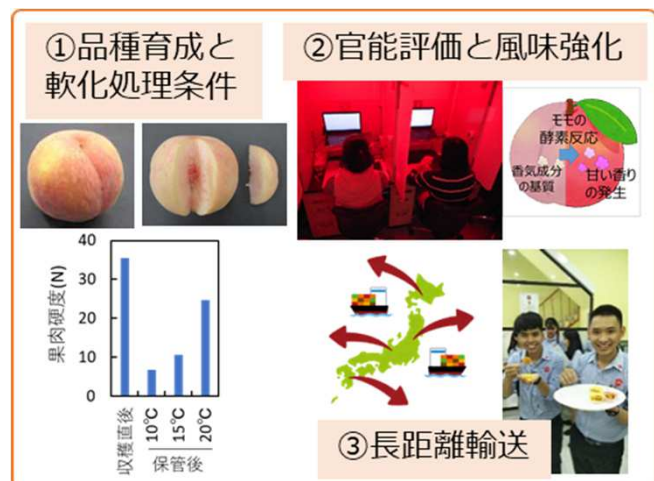
硬肉モモは押し傷がつきにくく輸送性に優れるが、そのままでは軟化せず香りも低い。近年、軟化技術を開発したが、品種により処理条件は異なる。既存の硬肉モモ品種は少なく、糖度など品質は劣る。硬肉モモは船便により輸送できるが、輸送中の環境や海外における嗜好性については不明である。



硬肉モモのメリットと不明な点

## 3. 研究内容

- ①高品質な硬肉モモ品種・系統の育成と硬肉モモを普通モモのように軟化させ、貯蔵する技術を開発する。
- ②様々な肉質の硬肉モモの官能評価や硬肉モモの香気特性の解明と風味強化を行う。
- ③硬肉モモの流通環境実証試験と流通後の品質嗜好性を明らかにし、長距離輸送技術を開発する。



本研究課題における3つの小課題

## 4. 達成目標・期待される効果

### 達成目標

- ・硬度を制御し、5週間鮮度保持
- ・硬肉モモ新品種1系統を5年後に品種登録出願
- ・硬肉モモ等の輸出を想定した輸送環境条件の解明



### 期待される効果

- ・消費者ニーズに応じた肉質のモモを提供
- ・モモ栽培面積増加、国内外消費拡大と産業の活性化
- ・モモの輸出量増加

研究代表機関：農研機構果樹茶業研究部門

共同研究機関：農研機構基盤技術研究本部高度分析研究センター、同 食品研究部門、山梨県、福島大学